

# 恭賀新年

## 磐城民論

發行日 毎月廿日  
 定價 一冊十錢  
 廣告料 一行五十錢  
 場所 指定十錢増  
 編輯人 酒谷四郎  
 印刷人 酒谷四郎  
 福島縣石城郡平町杉平  
 二十番地 磐城民論社  
 發行所 磐城民論社

### 年頭所感

昭和五年は舉國深憂大愼の中に過ぎ茲に辛末の新歳を迎ふ願れば建國創業以來二千五百九十二年我が皇室は一貫して唯養正の大業を念とす、實に是れ地上の奇蹟人類の光榮にして其徳天に等し

然るに我が臣民にして今に其國命の正義を解せざるもの多し誠に痛恨惜かざる所なり今や世界の人類は閭々の中に我が國體の正義を認めつゝあり時は來れに舉國甦生我が建國の精神に目覺め破邪顯正忠孝の本義を發揮して以つて世界の深暗を破れ是れ眞の安心なり眞の立命なり謹んで筆硯を清め掲げて以て皇國の光揚を祈念す

### 新年雜詠

#### 渡邊武門

- 初落舟着や賑ふ港町
- 温窓室咲き梅一輪やお元日
- 萬歳や鼓を負ふ戻りけり
- 乳母車落羽子よけて通りけり
- 初賣りや景品山と積まれけり

#### 川柳

##### 木田谿水

- 廻禮が濟んで紋附邪麗にされ
- 借り電話小さくなつて聲を出し
- ポーナスの袋途中で軽くなり
- 見合丈けして結婚フイになり
- 提灯の走る忙しい師走の夜
- 署長首すげ替終へてひつじ歳

#### 俳句

- 餅つきの音此處彼處新玉の
- 無格社の庭に初旭の光り哉
- 配膳が濟んで一家の屠蘇氣嫌
- 貼り替た障子明るき初日影
- 初旭の出磐城民論讀みにけり

山田六郎	鈴木辰三郎	古川傳一	山崎吉平	野崎滿藏	若松美三	比佐昌平	木村清治
石城郡町村長支會	松本徳一	四家又一	山崎登	諸橋元三郎	諸橋久太郎	小野普平	安島重三郎

### 實業界に入らんとする 青年諸君に教ふ

今日實業家として業界に活動する士或は將來社會に雄飛せんと欲する現代青年の多き事は教育方面に觀る商業教育乃至經濟、商科の各専門的教育即ち實業教育の如何に隆盛なるかは吾人の齊しく知る所であつて此の現象たるや一面に於て人類生活の改善と文明を促進する偉大なる方あるのみならず國民經濟に齎す利益僅少ならず、今や是の社會的傾向は單り本邦實業界のみならず米國は勿論佛伊又は復活の途上にある獨逸に於ても其の他何れの國家に於ても著しき進歩を齎して居る否寧ろ日本は其以上進歩せるものである往時は君主國として十農工商の四階級を定め商店所謂實業家を以て社會の最下級に屬せしめられたる其の最下級に屬せし時代は過ぎ今や國民幸福の開拓者として社會に重要視されるに至りし事は過去時代に比し隔世の觀なきに非ず寧ろ非凡なる實業家の一人にても多く社會は活動を待つ時代となり是國運の隆盛文明の促進は實業家の手に須つの大なるを知る所以にて世界萬國悉く實業家の勢力増進に傾きしことは吾人の實生活に比し實業の尊き活動が如何に有意義なるかを知らざる實業家たらんとし斯

一步は彼のナポレオンの一步より以上に幸福に恵まれた一步である。  
此の恵まれた一步をより以上幸福は一步二歩にせねばならない其れには健全なる心身を必要とする諸君第二步は既に得るに困難な道となつて居る此の道より成功の道に入らねばならぬ故に至難至險は時として真に

最後の踏張りは、  
困苦を突破す  
機會をうまく  
掴む者は成功する

然し單に美衣美食を樂しむ然して巨萬の富を得んとすることは容易にあり得べきことではない、例合あり得るとするも其れは稀にあり得るに過ぎない、恰も黄金の山が未だ人知れぬ所あり得ることだらうと想像する様に或はあり得るかも知れぬ否存在することであらう……が實業に志す青年よ人生は飛行機に乗じて思ふ所に行く様に簡單な問題ではない實に古今東西を通じて苟くも名ある人々は皆是成功に達する迄の人生に於て眞に吾人の想像の外に出づる事柄の如何に多かりしか青年よ先づ那翁一世の偉業に就て思へ！彼のコルシカの山河を後にして佛京巴里に出でし時蓬髮垢衣孤島の一貧兒帝國は愚か一師團長の希望すら有りと思ふ能はず後人生の風雲に乗じ歐洲全土を震懼するに至れる稀に見る英雄も其の成功の一面には又千難に堪へ萬苦を忍びたる跡を思はざる可からず吾人實業青年としての

正 賀  
**三三三 肉屋**  
番 三 二 三 話 電 町 田 平

## 護 新 賀 奉

村長 <b>岸博長</b> 刈野村	村長 <b>鈴木忠良</b> 廣野村	村長 <b>泉田須</b> 請戸村	町長 <b>桑島吉之助</b> 浪江町	町長 <b>宮本捨吉</b> 新山町	町長 <b>早川清久</b> 富岡町	町長 <b>本村倉治</b> 久ノ濱町	双葉郡
校長 <b>鈴木佐忠</b> 新山尋常高等小學校	校長 <b>黒木忠雄</b> 木戸尋常高等小學校	校長 <b>渡邊一</b> 廣野尋常高等小學校	校長 <b>柳沼徳實</b> 浪江尋常高等小學校	校長 <b>木田茂平</b> 久ノ濱尋常高等小學校	校長 <b>藤田榮</b> 富岡尋常高等小學校	村長 <b>里見富士丸</b> 木戸村	村長 <b>江菊治</b> 長塚村
登記所代書人 <b>瀧澤繁之丞</b> 富岡町	登記所代書人 <b>庄野貞造</b> 富岡町	土木建築請負業 <b>林七郎</b> 富岡町	内外科小兒科 <b>半谷醫院</b> 新山町	土木建築請負業 <b>坪幸太郎</b> 富岡町	土木建築請負業 <b>坂本梅吉</b>	雙葉修齊女學校 校長 <b>岩東マス</b>	福島縣 <b>雙葉中學校</b>

正 賀  
書 雜誌、文房具  
マルトモ柴田書店  
平町四丁目(電話三三四九〇五)

平町一丁目  
坂本紙店  
電話一八番

小 料理屋組合



# 謹賀新年

正賀

<p>双葉郡</p>	<p>消防組頭 上田善次郎 浪江町</p>	<p>消防組頭 富澤理七 新山町</p>	<p>常盤銀行 高橋光 浪江町</p>	<p>土木建築請負業 横山直二郎</p>	<p>土木建築請負業 三谷國光</p>	<p>土木建築請負業 阿部松衛</p>	<p>助役 猪狩岡次郎 富岡町</p>
<p>登記所代書人 山田宗七 浪江町</p>	<p>御料理旅館 石澤屋 浪江驛前 電六三番</p>	<p>藝妓屋 紺野屋 浪江驛前</p>	<p>大和田材木店 浪江町</p>	<p>呉服大物質商 新谷吳服店 浪江町電話七番</p>	<p>公周旋業 吉田榮太郎 浪江町</p>	<p>郵便局長 蛭田恭三 富岡町</p>	
<p>郵便局長 龜田政八 新山町</p>	<p>郵便局長 鈴木益雄 浪江町</p>	<p>藥の御用は 春陽堂藥局 浪江町</p>	<p>耳鼻咽喉科専門 外科内臓外科 山村醫院 浪江町 電話二一四番</p>	<p>秋田齒科院 富岡町</p>	<p>特許煙突掃除器 双葉郡一手販賣元 吉田屋旅館 店主 吉田忠義 大野驛前</p>		
<p>大野驛前 常盤齒科院 齒科醫學士 常盤清</p>	<p>大野村長 石田友宗</p>	<p>大野村助役 吉野友太郎</p>	<p>平警察署管内 理髮業組合 第一部</p>	<p>平町十五丁目 磐城共濟病院 電話六四一番</p>	<p>祝新築落成 佐藤材木店 浪江驛前</p>		
<p>磐城炭礦附屬古内鐵工場 古川源喜 内郷村高坂</p>	<p>大野村長 大角茶舖 平町播穂小路</p>	<p>平町公立 學校長懇和會</p>	<p>平藝妓屋組合 石城郡銀行組合 平町會議員一同 古河炭礦好問鑛業所 入山採炭株式會社坑務所 石城郡第一區小學校長會 石城郡第二區小學校長會 石城郡第三區小學校長會 石城郡第四區小學校長會 石城郡第五區小學校長會</p>	<p>御料理仕出し 湯本町 電話二一八番 登喜和</p>	<p>鳥肉は大勉強の 鈴木鳥肉店 播穂小路 電六五四番</p>	<p>天佑堂 光線治療院 平町田町(末廣亭向へ)</p>	<p>小野材木店 内郷村綴驛前</p>

書雜誌、文房具  
マルトモ柴田書店  
平町四丁目(電話三三四九〇五)

平町一丁目  
坂本紙店  
電話一八八番

料理屋組合

# 護 賀 新 年

<p>堀江工業株式會社 社長 江口忠一</p>	<p>東部電力株式會社平營業所 社長 武田精一</p>	<p>山野邊東次郎 平町五丁目</p>	<p>公債、債券、賣買 質舖 多田井商店 平町大工町 電話五九一號</p>	<p>山崎合名會社</p>	<p>佐々木建一郎</p>	<p>只野忠康</p>	<p>有限責任信用組合平庶民金庫</p>	<p>清水屋書店 平町二丁目 電話一三三番</p>	<p>關内油店 平町二丁目</p>	
<p>產 川島トミ 內鄉村綴驛前</p>	<p>公周旋業 先崎集惠 湯本町 電話一二三番</p>	<p>公周旋業 山本建治郎 湯本町</p>	<p>公周旋業 長谷川辰之助 平町</p>	<p>平町三丁目元平郵便局裏通り 蛇の目食堂 電話八一八番</p>	<p>炭礦諸材木 佐藤三平 內鄉村小島電話四三〇番</p>	<p>鐵骨建築金物 石具金具舟釘一式 吉野鐵工場 主 吉野勇 平町新川町</p>	<p>株式會社 百澤商店 四丁目</p>			
<p>公周旋業 高橋隆雄 湯本町</p>	<p>なかや洋服店 電話二〇三番</p>	<p>平町城山 聚樂園 園主 飯田近治</p>	<p>平旅館組合</p>	<p>新川町 松崎商店</p>	<p>磐城建物株式會社</p>	<p>石川亭</p>	<p>大 一 屋 電話二三番</p>	<p>西村屋藥舖 電話三三番</p>		
<p>湯本料理屋組合</p>	<p>內郷二業保健組合</p>	<p>磐陽舍活版所 平町南町</p>	<p>石城郡麴製業組合</p>	<p>平町鍛冶町 三國屋印刷所 電話五三三番</p>	<p>關内藥舖 電話四〇番</p>	<p>高久病院</p>	<p>木澤常松 平町</p>	<p>小野常治商店 電話四四番</p>		
<p>平町西洋料理屋組合</p>	<p>御料理 喜久の家 平町南町</p>	<p>土木業 伊藤多助 平町胡摩澤</p>	<p>平三業 保健組合</p>	<p>平館 松田卯次郎 電話四六六番</p>	<p>二丁目 遠藤市松 電話三〇五番</p>	<p>渡邊鐵工場 新川町</p>	<p>白銀町 田邊商店 電話七六一番</p>	<p>好間村役吏員 村會議員一同</p>		